

また、市と市教委への電話、メールが同日までに1万件を超えた。



新聞の工夫学ぶ

曙小で出前講座

琉球新報記者による出前講座「おでかけりゅうPON!」が17日、那覇市立曙小



新聞記者の仕事について佐藤ひろこNIE推進室記者(左)から話を聞く児童たち。17日、那覇市立曙小

小学校(宇江城^{あまぎ}誼校長、児童数343人)で開かれ、5年生61人が記者の仕事や新聞作りについて学んだ。りゅうちゃん号も出勤し、講座の様子を伝える速報が配られた。

児童らは、新聞をめくりながら「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」などの5W1H、大事なことを先に書く逆三角形など新聞の仕組みを学び、ニュースへの興味を広げた。

山里真愛^{まなか}さんは「文章を書くのが大好き。学んだことを生かし、もっとたくさん書いて上手になりたい」と目を輝かせた。下地裕人^{ゆうと}君は「いつもお父さんが読んでいる新聞は、いろんな工夫があると分かった。記者は、1人1台ずつカメラを持ってしていると聞いて驚いた」と話した。

講師は、佐藤ひろこ、金城綾乃NIE推進室記者が務めた。